

APSサミットシンポジウム2016

産業応用委員会の紹介

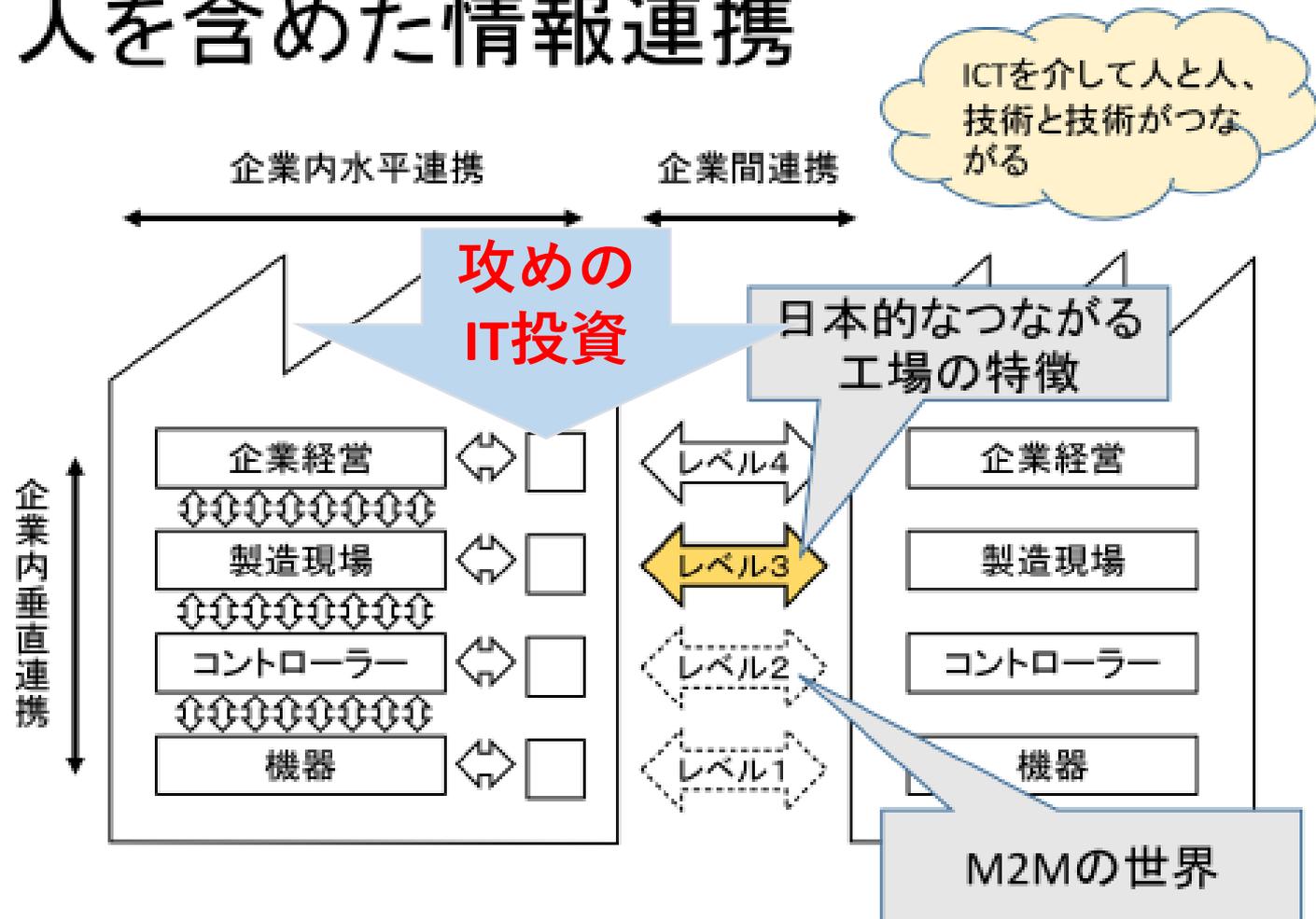
2016年12月7日

産業応用委員会

委員長 吉村 正平

企業間のビジネスプロセス連携

人を含めた情報連携



日本のものづくりに 受注生産、受注設計生産へのICT活用

どのタイミングで生産を開始するか

ビジネスモデルで競合他社との差別化

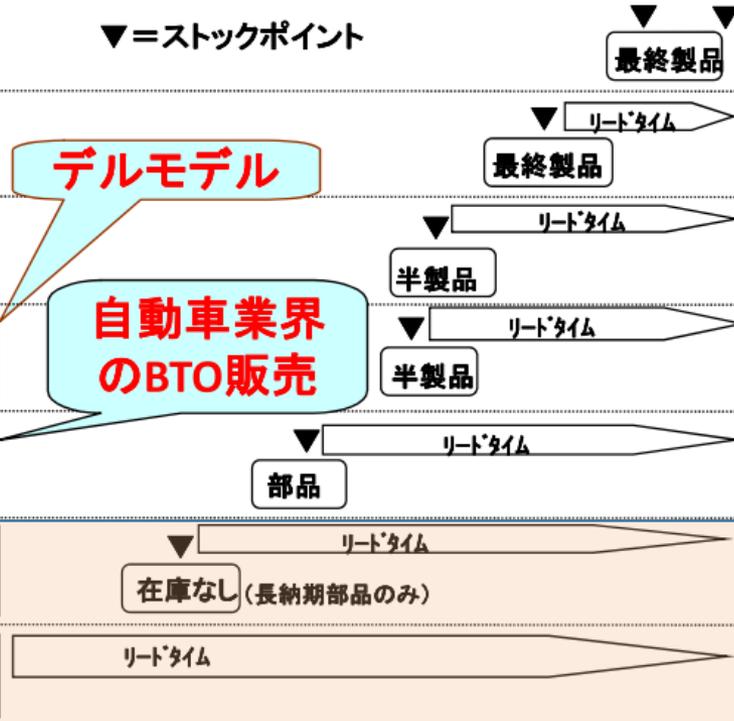
価値観
への対応

注文対応形態



短い 難しい 安い

- 在庫販売STS
Ship to Stock
- 見込生産MTS
Make to Stock
- 受注組立ATO
Assemble to Order
- 受注仕様組立CTO
Configure to Order
- 受注加工組立BTO
Build to Order
- 受注生産MTO
Make to Order
- 受注設計生産ETO
Engineer to order



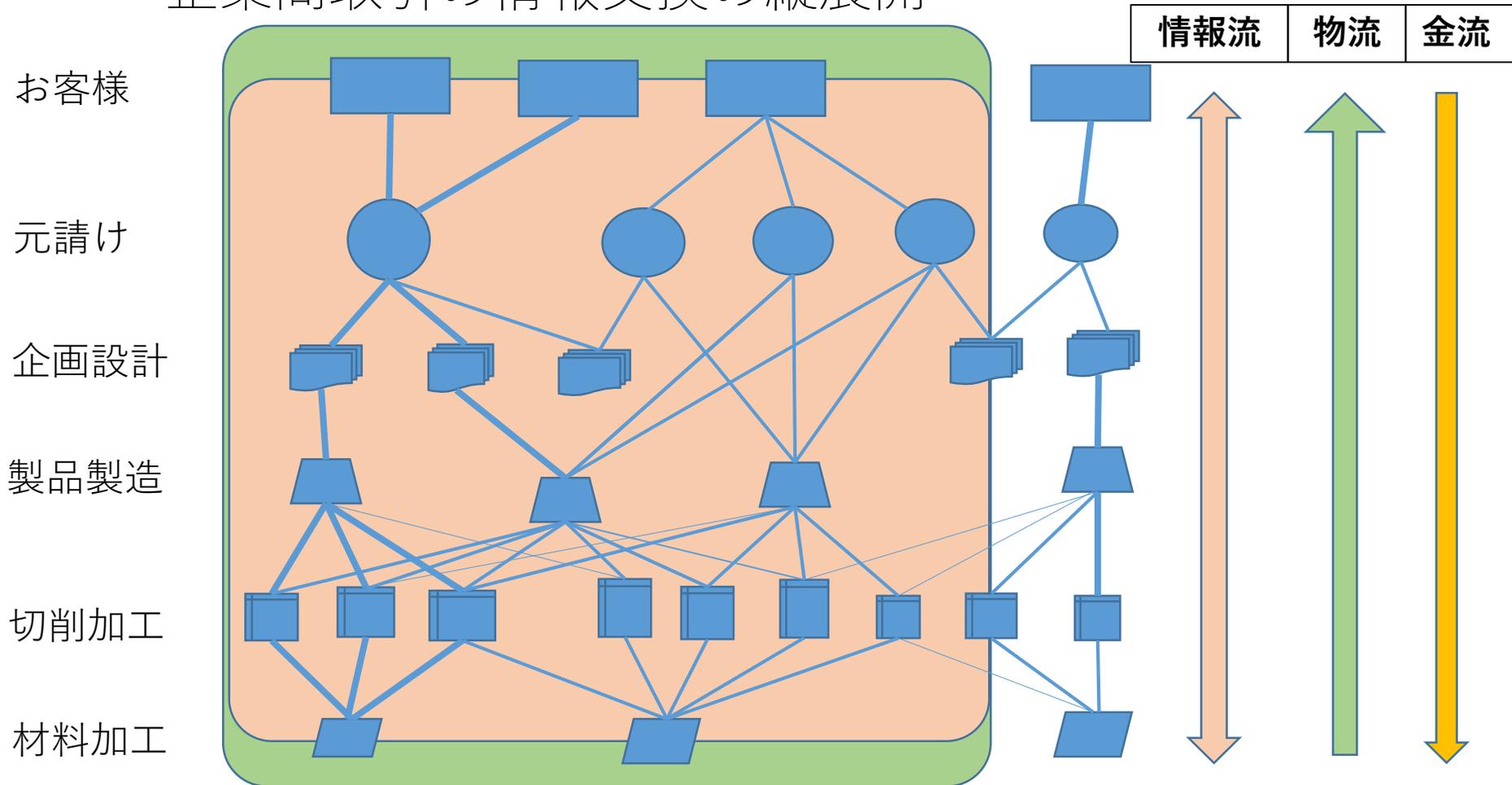
デルモデル

自動車業界
のBTO販売

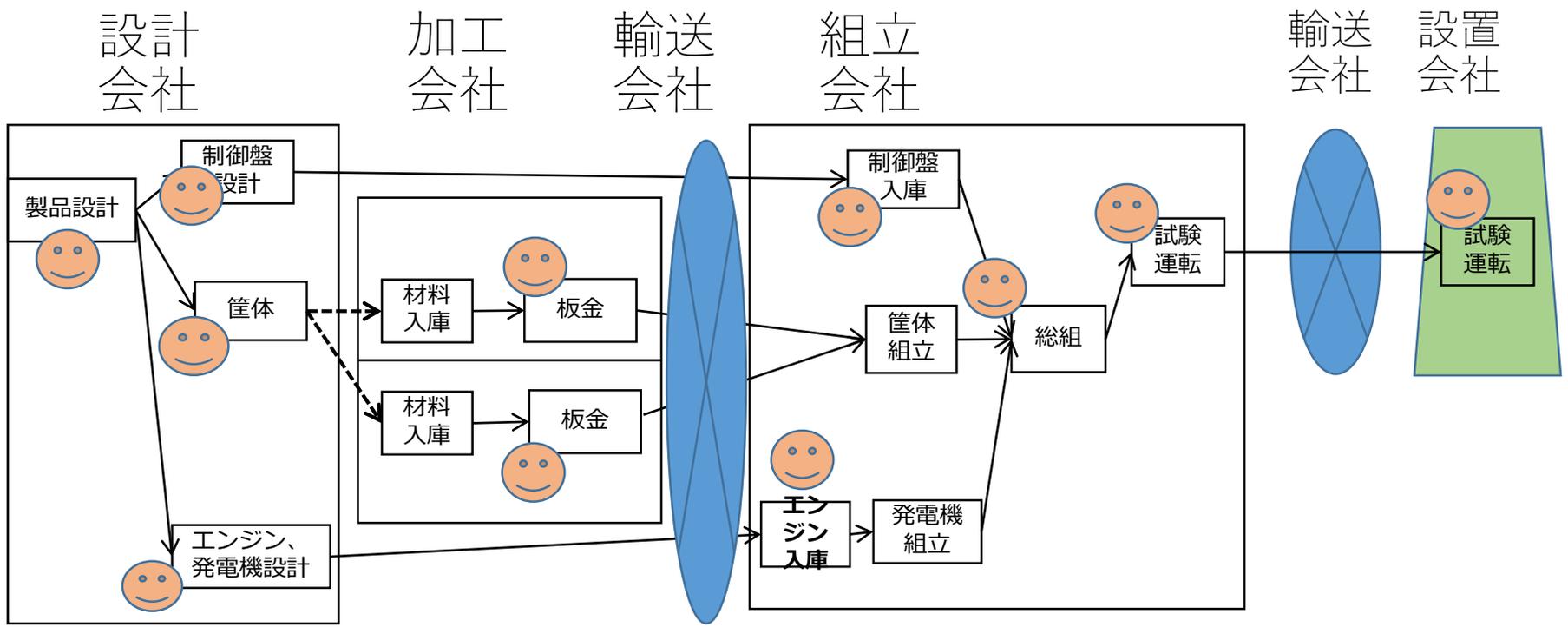


系列のない取引への進展 —M:Nの情報流通基盤が必要—

企業間取引の情報交換の縦展開

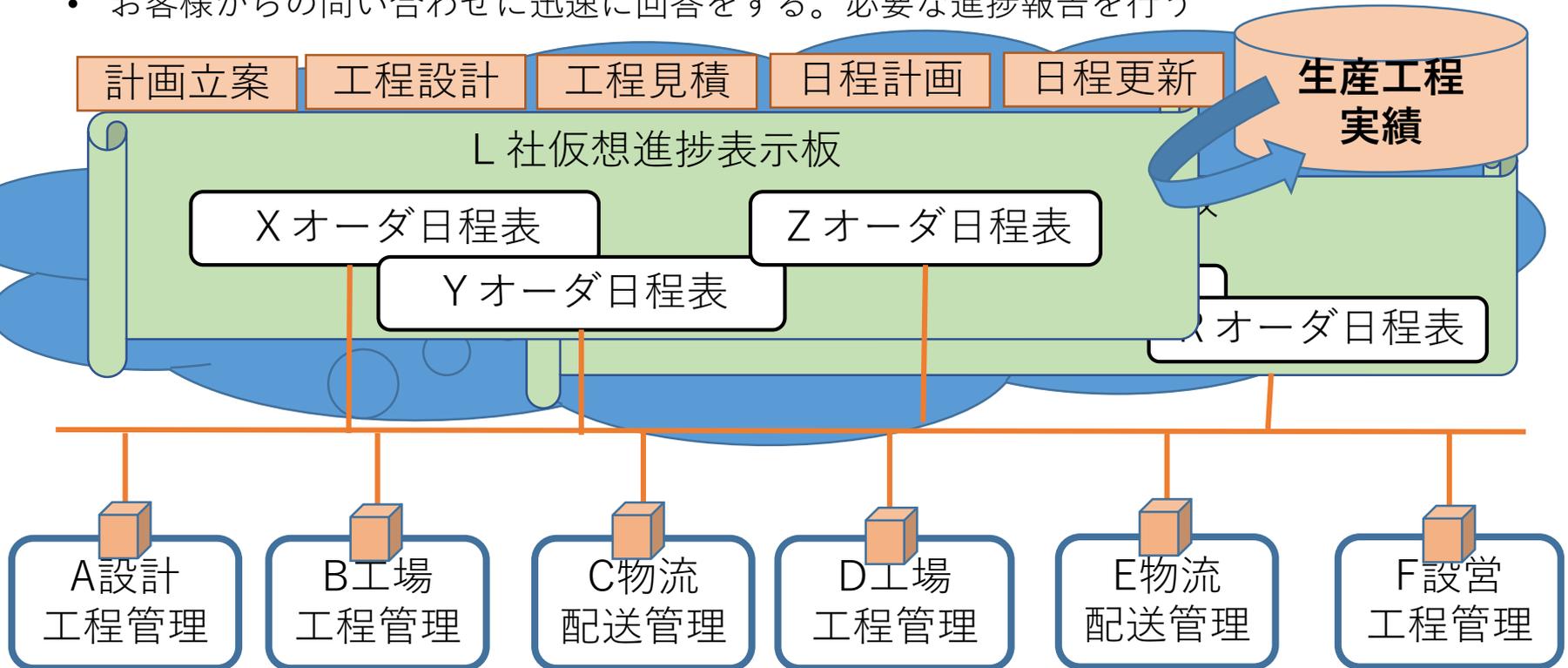


受注設計製造の連携モデル



地域のものづくり連携グループ クラウド上の仮想生産チーム活動

- 元請け企業が管理する日程進捗管理板に最新情報を開示
- 各社は最新の情報に基づく工程の予定・予測・実績を報告。
- 各社の最新情報を取り込み、日程表を更新する。
- お客様からの問い合わせに迅速に回答をする。必要な進捗報告を行う



A P S O Mの役割

実証実験の場と広報機能の提供

共創（協調）の場作り

- クラウド基盤の共同利用
- ビジネスモデルによる仮想プロセスモデルとデータモデルによる連携検証

（国際会計基準）

- 自社業務の仮想プロセスとのマッピングと社内プロセスの適正化
- 参加企業の人材育成

競争ルールの公表

- 開示されている競争ルールに適合できる品質評価基準
- 競争ルール順守の認定制度
- ルール適用指南書の提供
- 伝道師の募集と育成
- 教育のコースの提供